

2023 年度

授業概要

科目名	生体機能代行装置学実習Ⅲ（代謝）			授業の種類	実習	講師名								
授業回数	15	回数	回	時間数	30	時間	1	単位	必修・選択	必修	必修	配当学年 時期	2年	後期
【授業の目的・ねらい】 血液浄化療法に関わる生体機能代行装置について、実習を通して原理や機能を学ぶとともに透析現場で必要とされる手技や技術を身につけることを目的とする。														
【実務者経験】 住吉川病院、坂井瑠美クリニック、服部病院にて30年以上血液浄化業務に従事。兵庫県臨床工学技士会会長を経て現在も監事として技士会運営に携わっている。														
【授業全体の内容の概要】 医療現場に必要な知識や技術を身につけることを目的として実習を行う。毎回の授業で学んだことについて、実習内容をレポートにまとめ、理解を深める。														
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・血液浄化療法の基礎的な知識・技術を身につける。 ・トラブル時などに対応できる応用力・考え方を身につける。														
回数	講義内容										準備物(教材)			
1	落差プライミングについて理解できる										ダイアライザ、血液回路			
2	ポンプを使用したプライミングについて理解できる										ダイアライザ、血液回路			
3	限外濾過（UFR）について理解できる										ダイアライザ、血液回路			
4	血圧測定や巻き方の影響について理解できる										血圧計			
5	透析条件について理解ができ、設定ができる										ダイアライザ、血液回路、透析装置			
6	透析中のチェック項目について理解できる										ダイアライザ、血液回路、透析装置			
7	アラーム発生時における装置の動作が理解でき、アラーム対応ができる										ダイアライザ、血液回路、透析装置			
8	透析中のトラブル対応（凝固、空気混入、抜針）について理解できる										ダイアライザ、血液回路、透析装置			
9	水質管理（生菌）について理解できる										クオリティモニタ、RO水			
10	透析装置の密閉系（複式ポンプの構造、分解）について理解ができる										透析装置、複式ポンプ			
11	穿刺針の構造や取り扱いについて理解できる										穿刺針、血液回路、テープ			
12	シャント穿刺、回路固定、止血について理解できる										穿刺針、血液回路、テープ			
13	透析室における感染対策と手指消毒のタイミングについて理解できる										PPE			
14	標準予防策について理解できる										PPE			
15	透析室における災害対策と透析中の緊急避難ができる										血液回路、テープ			
定期筆記試験														
【使用教科書・教材・参考書】 臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社														
【準備学習・時間外学習】 ・準備学習として当該範囲の予習をして授業に臨むこと ・講義後は板書と教科書の要点をまとめる作業を行うこと														
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する レポート20点、実技試験を30点、定期試験を50点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する														